

福島原発事故後の**神奈川県**における 放射性物質到達濃度グラフ(テルル算定値等)

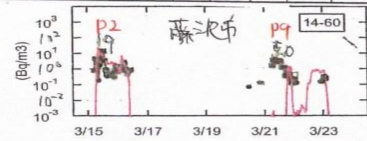
原発事故後に**神奈川県**の**SPMろ紙観測局**へ飛来した
プルーム3とプルーム8による
大気中エアロゾル放射能汚染濃度 (Bq/m³)

神奈川県SPM観測におけるP2,P9 プルーム飛来時・1 時間当たり放射能 (Te-129,Te-129m,Te-131,Te-132,I-131,I-132,I-133,Cs-134,Cs-136,Cs-137)濃度 (Bq/m³) と(Te-128+Te-130質量のCs-137質量比=0.26)

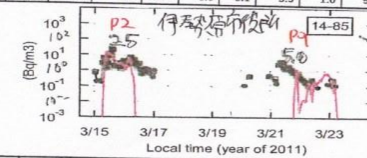
神奈川県茅ヶ崎市・県衛生研究所の位置

2011 年 3 月 15 日から 23 日の神奈川県・SPM 観測局における Cs-137 濃度時間変化と P2、P9 飛来ピーク時の核種別 (Te-129,Te-129m,Te-131,Te-132,I-131,I-132,I-133,Cs-134,Cs-136,Cs-137) 1 時間当たり放射能濃度 (Bq/m³) と (Te-128+Te-130) の Cs-137 に対する質量比=0.26

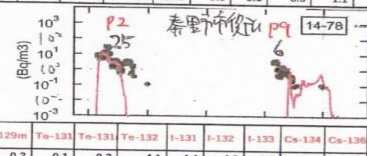
測定場所と単位(Bq/m ³)	Te-129	Te-129m	Te-131	Te-131	Te-132	I-131	I-132	I-133	Cs-134	Cs-136	Cs-137	(Te-128+Te-130)のCs-137質量比
横浜市のP2	3	5	2	7	131	139	135	34	21	5	19	0.26
横浜市のP9	0.0	1.2	0.0	0.1	7.5	23.0	8.0	0.1	5.5	1.0	5.0	0.26



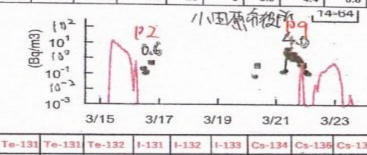
測定場所と単位(Bq/m ³)	Te-129	Te-129m	Te-131	Te-131	Te-132	I-131	I-132	I-133	Cs-134	Cs-136	Cs-137	(Te-128+Te-130)のCs-137質量比
伊勢原市のP2	3	5	2	7	131	139	135	34	21	5	19	0.26
伊勢原市のP9	0.0	1.2	0.0	0.1	7.5	23.0	8.0	0.1	5.5	1.0	5.0	0.26



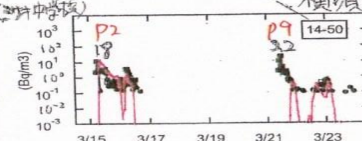
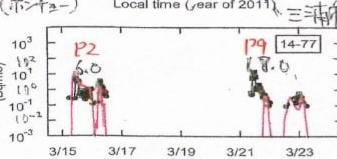
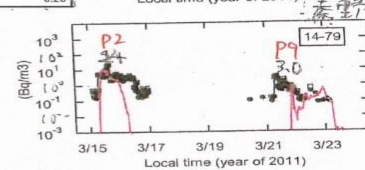
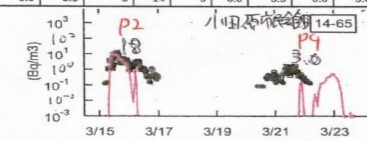
測定場所と単位(Bq/m ³)	Te-129	Te-129m	Te-131	Te-131	Te-132	I-131	I-132	I-133	Cs-134	Cs-136	Cs-137	(Te-128+Te-130)のCs-137質量比
鎌倉市のP2	4	7	2	9	173	183	178	45	28	7	25	0.26
鎌倉市のP9	0.0	1.4	0.0	0.1	9.0	27.6	9.6	0.1	6.6	1.1	6.0	0.26



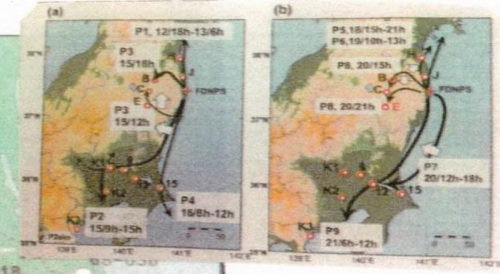
測定場所と単位(Bq/m ³)	Te-129	Te-129m	Te-131	Te-131	Te-132	I-131	I-132	I-133	Cs-134	Cs-136	Cs-137	(Te-128+Te-130)のCs-137質量比
小田原市のP2	0.1	0.2	0.1	0.2	4.1	4.4	4.3	1.1	0.7	0.2	0.6	0.26
小田原市のP9	0.0	1.0	0.0	0.0	5.0	18	6	0.0	4.4	0.8	4.0	0.26



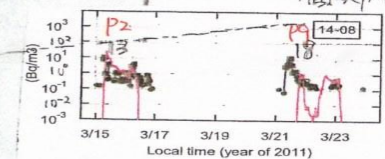
測定場所と単位(Bq/m ³)	Te-129	Te-129m	Te-131	Te-131	Te-132	I-131	I-132	I-133	Cs-134	Cs-136	Cs-137	(Te-128+Te-130)のCs-137質量比
小田原市民会館のP2	3	5	2	7	124	131	128	32	20	5	18	0.26
小田原市民会館のP9	0.0	0.7	0.0	0.0	5	14	5	0.0	3.3	0.6	3.0	0.26



測定場所と単位(Bq/m ³)	Te-129	Te-129m	Te-131	Te-131	Te-132	I-131	I-132	I-133	Cs-134	Cs-136	Cs-137	(Te-128+Te-130)のCs-137質量比
横浜市のP2	3	5	2	7	124	131	128	32	20	5	18	0.26
横浜市のP9	0.0	0.5	0.0	0.0	3	10	4	0.0	2.4	0.4	2.2	0.26



測定場所と単位(Bq/m ³)	Te-129	Te-129m	Te-131	Te-131	Te-132	I-131	I-132	I-133	Cs-134	Cs-136	Cs-137	(Te-128+Te-130)のCs-137質量比
横浜市中区本町のP2	2	3	1	5	90	95	92	23	14	4	13	0.26
横浜市中区本町のP9	0.0	5	0.0	2.2	61	115	83	7	20	5	18	0.26



注1: グラフ中の黒点●はSPMろ紙付着放射能実測値、赤線はモデル算定値
注2: 地図中の○はCs-134,Cs-137 測定局、●はCs-134,Cs-137,I-129 測定局

出典:平成25年度原子力規制委員会委託事業「大気中拡散モデルを用いたシミュレーションによる放射性物質の挙動
解明事業、業務に関する報告書(平成26年3月31日、東京大学大気海洋研究所)

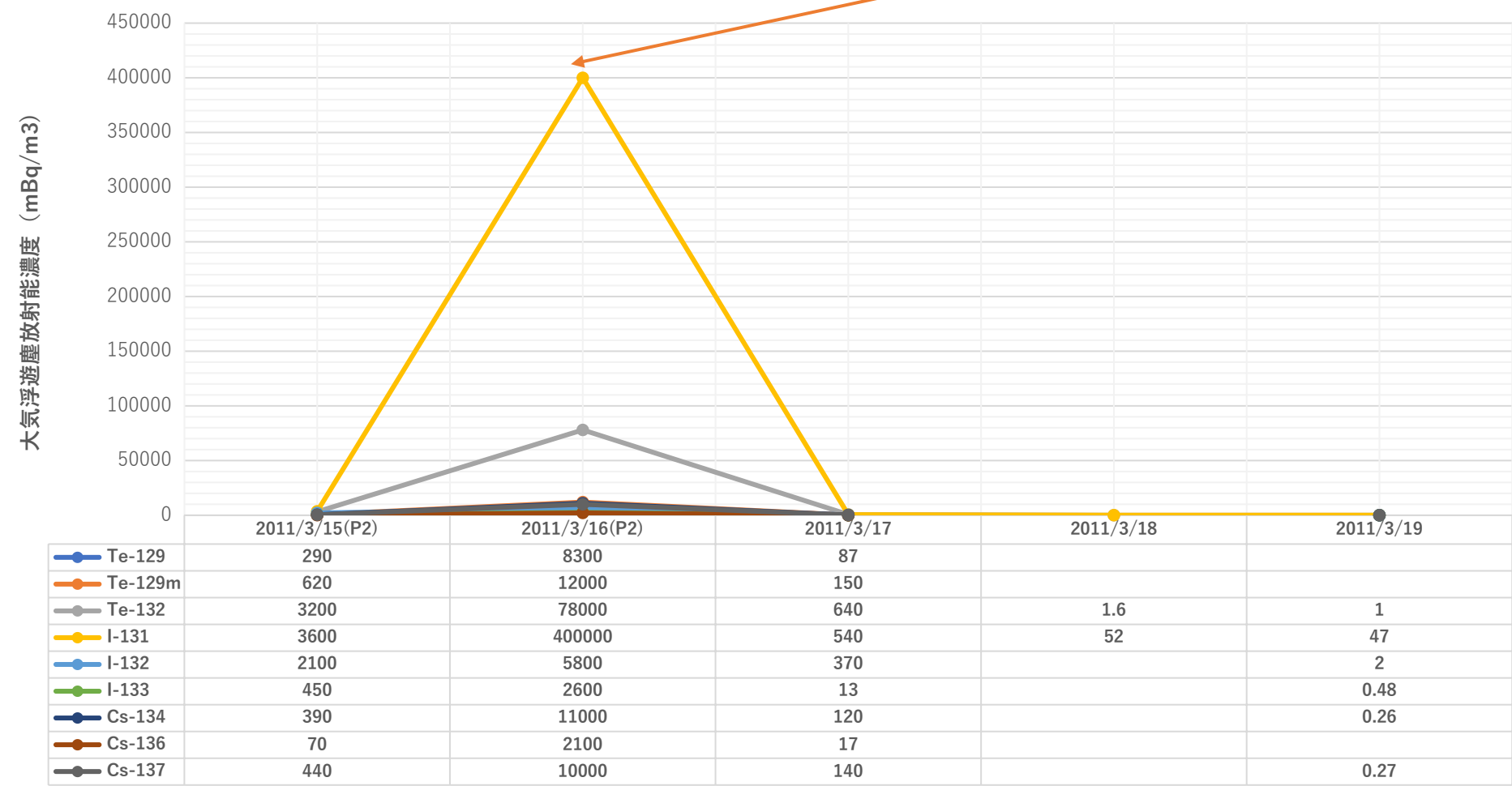
2011年3月15日から4月10日の神奈川県茅ヶ崎市・県衛生研究所において観測された大気浮遊じん放射能濃度(mBq/m³)

注1：検出された核種はTe-129,Te-129m,Te-132,I-131,I-132,I-133,Cs-134,Cs-136,Cs-137

注2：3月15日から16日にプルーム2、3月21日から22日にプルーム9が到達していた。

(大気浮遊じん放射能濃度 (mBq/m ³)								
採取年月日	Te-129	Te-129m	Te-132	I-131	I-132	I-133	Cs-134	Cs-136	Cs-137
2011/3/15 (プルーム2)	290	620	3200	3600	2100	450	390	70	440
2011/3/16 (プルーム2)	8300	12000	78000	400000	5800	2600	11000	2100	10000
2011/3/17	87	150	640	540	370	13	120	17	140
2011/3/18			1.6	52					
2011/3/19			1	47	2	0.48	0.26		0.27
2011/3/20			1.1	110	2	0.3	0.31		0.2
2011/3/21 (プルーム9)	84	160	300	580	180		220	36	260
2011/3/22 (プルーム9)	680	1200	2000	1300	1300		760	120	860
2011/3/23	110	190	270	2900	180		45	6	50
2011/3/24		18	17	600	15		6.8	0.87	7.8
2011/3/25			1.6	170	4.5		1.4		1.6
2011/3/26			1.5	66	3.4		1.4		1.8
2011/3/27			0.4	17	4.1		0.6		0.69
2011/3/28			0.3	20	2.2		0.35		
2011/3/29	4.6		2.8	97	4.1		14	0.69	15
2011/3/30	17	18	8.6	84	8		57	3.6	62
2011/3/31	73	120	39	280	26		560	33	640
2011/4/1			0.37	17	1.4		4.1		4.7
2011/4/2				10	1.1		1.1		1
2011/4/3			0.13	6.4	0.51		1.7		1.8
2011/4/4	4.3	10	0.92	44	1.1		16	0.58	16
2011/4/5			0.18	8.1	0.61		1.3		1.4
2011/4/6				9.6	0.53		0.78		0.65
2011/4/7			0.14	8.3	0.49		3.9		4.6
2011/4/8				4.4			2.8		3
2011/4/9				1.9			0.68		0.62
2011/4/10				11			6.8		7.5

2011年3月16日から19日の神奈川県茅ヶ崎市県衛生研究所で観測された大気浮遊じん放射能濃度 (mBq/m³)の時間変化
注：3月15日～16日に茅ヶ崎市の神奈川県衛生研究所には**プルーム2**が飛来していた



2011年3月20日から4月1日の神奈川県茅ヶ崎市県衛生研究所で観測された大気浮遊じん放射能濃度（mBq/m³）
注：3月21日から22日の茅ヶ崎市の神奈川県衛生研究所には**プルーム9**が飛来していた

